

エビデンスに基づく政策立案 (EBPM)の普及に向けて

岐阜県公立小学校・
メック合同会社 教育アドバイザー
森 俊郎
m072132@gmail.com

エビデンス仲介機関	What Works Clearinghouse	Education Endowment Foundation	The Centre for Use of Research and Evidence in Education
所属	教育省	慈善団体	民間会社
ミッション	教育情報の源	教育格差の是正	教師の専門性の向上
提供情報の種類	読み・書き・計算 (RCT)	学校・情動 (SR)	ルートマップ

役割	つくる	つたえる		つかう
機関	大学 研究所	WWC EEF	CUREE	教育行政 学校
取り組み	データベースの構築 実証研究(RCT等)	研究の要約 (研究の要約作成)	教員研修 (エビデンス活用支援)	エビデンスの活用 意思決定

Data Primary studies SR Databases Evidence Maps Platforms Portals Guidelines Checklist



要点...諸外国の教育エビデンス仲介機関の特徴について比較・調査。

- 各国の組織の立ち上げの背景、役割、法律があった。
- RCTのSRといった強固なエビデンスをつくるプロセスを明示していた。(透明性)
- 一方で、エビデンスそのものに対しては、独立性に留意されていたこと。(独立性)
例えば、予算配分の仕組みなど。

普及の課題、政府・学会・研究者等に期待する役割

EBPMの普及に当たっての課題

(1) 透明性

エビデンス活用の目的や政治的プロセス、エビデンスの産出のプロセスは、可能な限り公開されるべき。

(2) 独立性

民主的プロセスによって明示された目的のもと、産出された結果は、独立性が担保されるべき。目的・産出・活用の分離。とくに予算運用の最適化。

(3) エビデンスリテラシー

つくる・つたえる・つかう際の人材育成。とくに、産出されたエビデンスをよりよく「つかう」(理解・吟味・適応)人材が重要。

学会・研究者等への期待

『正しいエビデンス』

- ・先行研究(Davies1999: Sackett1996等)を参考
- ・2次研究、橋渡し研究や仲介人への評価を期待

政府・行政への期待

『うまいエビデンス』

- ・日本の行政の現状を踏まえた法整備・予算化
- ・国際ネットワーク化を期待。Global Partnership for Education (GPE)